

ペット質問箱

高齢犬、散歩はかわいそう？

外の刺激大切、可能か相談を

問 脚力の落ちた高齢犬を散歩に連れ出すのはかわいそうでしょうか。若い頃は散歩が大好きだったので悩んでいます。

答 実際、私の普段の診療時にも「弱っているのにかわいそう。おうちでゆっくりさせてやった方が良さそう」などご近所さんに言われてしまったと相談を受けることもあります。「若い時のように活発でもないし、よろよろした姿を見

せるのは恥ずかしい」とおっしゃる方もいます。

「散歩＝歩くこと」というイメージを持つ方が多いと思いますが、高齢犬の散歩の場合には、「散歩＝外に出ること」と考えてみてください。外に出て、日の光を浴び、空気に触れ、においを嗅ぎ、鳥の声などを聞く。ただ立っているだけでも、さまざまな刺激を受けることができます。

動物行動学の先生は、飼い犬について1日1～

2時間の外出を推奨されることが多いですが、私は1日30分以内でも効果はあると感じています。家の中にいるだけでは満たされない本能的な要求が満たされ、認知機能低下や不安症が抑えられることもあります。

ただ、高齢犬で関節や心臓、呼吸器に疾患があったり、外の刺激が苦手だったりするワンちゃん

もいますので、全ての高齢犬を散歩に連れ出すのがいいというわけではありません。頑張らせ過ぎてしまうことで持病が悪化する恐れもあります。散歩に連れ出すのに体調の問題がないのか、かかりつけの動物病院で指示を仰いでから判断していただけたらと思います。

(宇治 正憲・県獣医師会員)

ペットに関する素朴な疑問や健康、飼い方についての質問をお寄せください。〒422-8670 静岡新聞社編集局「ペット質問箱」係へ。Eメール<seikatsuhoudou@shizuokaonline.com>や、右のQRコードで投稿フォームからも送信できます。全てにはお答えできず、直接回答もしかねますがご了承ください。

